令和２年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会

期間：令和２年 12 月 17 日（木)～20 日（日）　場所：東京都世田谷区駒沢体育館

令和２年度天皇杯・全日本レスリング選手権大会は令和２年 12 月 17 日（木)～20 日（日）の４日間、東京都世田谷区駒沢体育館で行われた。今大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため出場選手を１階級８選手に絞り、大会関係者の体育館への入場制限や事前検温等、十分に感染対策を行い実施された。また、今年度、全日本クラスの大会が、相次ぎ中止となっていたため本大会は今年度初の全国クラスの大会となった。

自衛隊体育学校第２教育課レスリング班からは、赤熊猶弥２等陸尉以下 32 名（うち集合訓練参加者５名）が出場した。男子フリースタイルから３名、グレコローマンから２名、女子フリースタイルから１名の合計６名が優勝し、大会を盛り上げた。

また、フリースタイル 125kg 級とグレコローマン 87kg 級では体育学校の選手が表彰台を独占する活躍を魅せた。

フリースタイル Freestyle 97kg 優勝

赤熊　目指すは東京五輪出場

４度目の優勝を飾った
赤熊２尉

３年連続４度目

大会２日目、フリースタイル 97kg 級に連覇を狙う赤熊猶弥２等陸尉が出場した。第１シードにより準決勝から始まった赤熊２尉は、昨年度天皇杯２位で長年のライバルの山口剛選手（新日本プロレス）に４－２で勝利。迎えた決勝は初優勝を狙う石黒峻士選手（新日本プロレス）との対戦となった。開始１分 56 秒 10－０のテクニカルフォールで勝利し、３年連続４度目の優勝を飾った。

「今年は世界選手権に出るつもりで準備してきた。その世界選手権がなくなり、昨年の天皇杯後国内大会には出場しないと決めていたので、今大会に出場するか最後まで迷ったが出てよかった。準決勝と決勝は緊張した中で勝てた。今後は来年３月のオリンピックアジア予選に向けしっかり準備していきたい。」と語った。

フリースタイル Freestyle 79kg 初優勝

吉田　入隊後、着実に力を付ける

成長著しい吉田２曹

大会３日目、フリースタイル 79kg 級に今年度入隊した吉田隆起２等陸曹が出場した。準々決勝は不戦勝で進み、準決勝、梅林太朗選手（早稲田大学）に５－２で勝利。決勝ではこの階級で昨年度明治杯優勝、世界選手権出場経験のある高橋夢大選手（日本体育大学）に８－７で勝利し、初の栄冠を手にした。

「自衛隊体育学校に入り、自分に足りないところを徹底的に指導してもらい、日々学ぶことが多く、成長のスピードが早く感じる。来年度の明治杯でもう一度優勝し、海外選手と勝負できるレベルになっていきたい。」と語った。

PHOTO GALLERY
自衛隊体育学校 フォトギャラリー

自衛隊体育学校の活躍・活動を Web サイト、インスタグラムでご覧ください。

http://www.mod.go.jp/gsdf/phy_s/index.html　自衛隊体育学校　検索

Web　Instagram

Freestyle フリースタイル 125kg 優　勝

山本　国内で負けない選手を目指す

練習で自分を追い込んで
試合で勝利した山本２曹

４年ぶり３度目

大会１日目、フリースタイル 125kg 級に山本泰輝２等陸曹が出場した。初戦、同門の金澤勝利２等陸曹に７－２で勝利。続く準決勝では 2019 世界選手権に出場し、天皇杯７度の優勝経験を持つ荒木田進謙選手 (athletic camp LION) との対戦となり、４－０で勝利した。

迎えた決勝は、昨年度天皇杯優勝の田中哲矢２等陸曹との同門対決となった。田中２曹が一歩リードしていたが、試合終盤に山本２曹が田中２曹を場外に押し出し３－１で逆転勝利、天皇杯４年ぶり３度目の優勝を決めた。

「昨年天皇杯で３位にも入れなくて悔しい思いをした。オリンピック出場を賭けた試合で優勝できなくて辞めようかと思うくらい落ち込んだ。周りの励ましがあり今大会は絶対優勝してやろうという気持ちになった。今後は国内 125kg 級で負けない選手になりたい。」と語った。

Greco-Roman グレコローマン 82kg 2連覇

向井　今後は、国際大会で成績を残したい

大会１日目、グレコローマン 82kg 級に同階級で２連覇を狙う向井識起陸士長が出場した。

向井士長は、第１シードにより準決勝からの試合なった。相手は 2019 世界選手権出場の岡嶋勇也選手（警視庁）となった。しっかり相手に対応し７－３で勝利、決勝に駒を進めた。決勝は昨年の決勝と同じ、同門の川村洋史３等陸曹との対戦となった。結果５－０で勝利し、大会２連覇を達成した。

「今後はオリンピック階級で勝たないといけない。非オリンピック階級での大会２連覇について思うことはない。これからは、国際大会海外の試合で成績が残せる選手になりたい。」と語った。

国際大会で勝利を目指す
向井士長

Greco-Roman グレコローマン 87kg 階級変更し 優　勝

阪部　今後は身体とメンタルを強化

最後は気持ちで勝利した
阪部２曹

大会２日目、グレコローマン 87kg 級に今年度グレコローマン 77kg 級から階級を変更した阪部創２等陸曹が出場した。初戦準決勝、同門の鶴田峻大３等陸曹に４－１で勝利。迎えた決勝は、この階級全日本３連覇中の同門の角雅人３等陸曹との対決となった。実力者同士の試合は互いに一歩も引かない展開となった。試合終盤、阪部２曹は勝利への執念でポイントを重ね６－３となり、2016 年明治杯以来の優勝となった。

「天皇杯では初めて、そして久しぶりの優勝で嬉しい。この階級連覇している相手に最後は気持ちで勝てた。87kg 級に階級を上げたので、まだ身体が劣っている部分がありメンタルとともに今後強化していきたい。」と語った。

Freestyle(Women) 女子フリースタイル 72kg 初優勝

古市　アジア選手権優勝に繋げたい

大会１日目、女子フリースタイル 72kg 級に、同階級で 2019 世界選手権第３位の古市雅子２等陸曹が出場した。この階級出場選手が３名だったため、シードの古市２曹は決勝１試合のみとなった。相手の小林奏音選手（専修大学）に２分 28 秒　10－０のテクニカルフォールで勝利し、全日本初優勝を手にした。

「この状況の中、開催された大会での中でしっかり勝てて良かった。来年２月に予定されているアジア選手権（カザフスタン）での優勝に繋げたい。今後はしっかり体を作り、攻めるレスリングをしたい。攻める事を怖がらない気持ちを作りたい。」と語った。

全日本初優勝の古市２曹

総合成績（メダリスト）

男子フリースタイル

優　勝

79kg 級　２等陸曹　吉田隆起　（和歌山県）
97kg 級　２等陸尉　赤熊猶弥　（福岡県）
125kg 級　２等陸曹　山本泰輝　（静岡県）

準優勝

74kg 級　３等陸尉　高谷大地（京都府）
125kg 級　２等陸曹　田中哲矢（鹿児島県）

第３位

125kg 級　２等陸曹　金澤勝利　（岩手県）

男子グレコローマン

優　勝

82kg 級　陸士長　向井識起　（広島県）
87kg 級　２等陸曹　阪部　創　（和歌山県）

準優勝

72kg 級　１等陸士　堀江耐志（和歌山県）
※第 32 普通科連隊（集合訓練参加者）
77kg 級　３等陸曹　小路直頌（福岡県）
82kg 級　３等陸曹　川村洋史（静岡県）
87kg 級　３等陸曹　角　雅人（佐賀県）
97kg 級　２等陸曹　志喜屋正明（沖縄県）

第３位

77kg 級　２等陸曹　櫻庭功大（秋田県）
87kg 級　３等陸曹　鶴田峻大（沖縄県）

女子フリースタイル

優　勝

72kg 級　２等陸曹　古市雅子（熊本県）

第３位

65kg 級　陸士長　今井海優（京都府）
76kg 級　２等陸曹　阿部梨乃（青森県）

PHOTO GALLERY
自衛隊体育学校 フォトギャラリー

自衛隊体育学校の活躍・活動を Web サイト、インスタグラムでご覧ください。

http://www.mod.go.jp/gsdf/phy_s/index.html　自衛隊体育学校　検　索

Web　Instagram